鹿児島県指宿市 地域分析・検討結果シート(令和5年2月作成)

活用データ名・									データ	の値					
活用ナーダ名・ 指標名	指標ID	単位	備考		自地域		都道	府県平均・	合計	全	国平均・合	計		比較地域	
71107 11					見島県 指宿								鹿児島県 枕崎市		
				2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(各年度年報)	19.2	18.7	19.0	19.6	19.4	19.2	18.4	18.7	18.9	16.1	16.6	16.6
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較) (各年度年報)	15.1	14.8	14.7	16.1	15.9	15.6	17.0	17.0	16.6	13.5	13.9	13.6
調整済み認定率(要介護3~5	B6-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報	6.1	5.6	5.3	5.8	5.7	5.6	5.8	5.7	5.6	5.7	5.5	5.5
調整済み認定率(要支援1~ 要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(比較地域と比較) (各年度年報)	9.1	9.1	9.4	10.3	10.2	10.0	11.3	11.2	11.0	7.8	8.4	8.1

設定した仮説の確認・検証方法 見える化「新規要支援・要介護認定者の平均年齢(RO2)」 ・国114歳・県222歳・指宿市824歳・比較地域833歳 一新規要支援・要介護認定者の平均年齢が高いほど、調整済み認定率が低い。

見える化「週1回以上の通いの場の参加率(R02)」 ・国2.1%・県4.3%・指宿市8.9% →当市の参加率が高く、認定率を抑える一因であると推測する。

自由記述

当市の介護保険料は月額6,791円で、比較地域は月額5,781円である。高齢化率は同程度ながら、認定率に差があり、介護保険料の差となっている一因ではないか。

				2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列 (各年度年報)	4.0	4.3	4.3	3.5	3.5	3.4	2.8	2.8	2.8	4.3	4.3	4.6
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列 (各年度年報)	1.5	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列 (各年度年報)	8.7	8.8	9.1	10.0	10.0	10.1	9.8	9.9	10.2	7.9	8.2	8.2

問題を解決するための対応策 (理想像でも可) 今後における施設サービス量の検討及び整備 →高齢者独居世帯の割合が高いほど、受給率(施設サービス)が高い。

自由記述

当市において施設サービス需要が最も高まる時期を勘案しながら,今後の整備の必要性について検討する必要がある。

				2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
受給者1人あたり給付月額(在 宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列 (各年度年報)	130,918.1	132,580.6	132,577.5	129,465.5	130,643.9	131,542.5	128,828.7	129,423.3	130,298.4	113,595.2	113,924.9	110,040.0
受給者1人あたり給付月額(在 宅サービス)	D15-b	Ħ	見える化・時系列 (各年度年報)	113,235.0	114,235.4	114,095.2	114,464.5	115,578.8	116,438.6	118,025.0	118,280.6	119,151.4	105,132.4	106,079.5	102,465.6
受給者1人あたり給付月額(訪 問介護)	D17-a	円	見える化・時系列 (各年度年報)	60,271.7	66,175.2	65,549.4	49,717.7	51,429.8	52,649.6	68,918.8	73,426.5	75,247.6	36,725.0	45,984.5	48,604.6
受給者1人あたり給付月額(訪 問入浴介護)	D17-b	Ħ	見える化・時系列 (各年度年報)	66,889.3	73,460.9	71,604.5	63,913.6	64,678.8	64,947.1	61,908.5	62,559.3	62,640.3	76,104.5	86,286.4	84,094.5
受給者1人あたり給付月額(訪 問看護)	D17-c	円	見える化・時系列 (各年度年報)	40,563.2	35,212.3	37,382.7	35,825.6	35,566.1	35,986.3	40,499.6	41,148.1	41,445.4	37,320.7	34,916.3	35,638.9
受給者1人あたり給付月額(訪 問リハビリテーション)	D17-d	円	見える化・時系列 (各年度年報)	36,233.9	35,155.2	36,104.1	34,867.8	34,428.4	35,021.5	33,241.3	33,725.7	34,160.1	30,255.4	29,320.2	32,398.9
受給者1人あたり給付月額(居 宅療養管理指導)	D17-e	円	見える化・時系列 (各年度年報)	7,473.7	7,184.1	7,160.7	9,131.8	8,935.3	9,342.8	11,939.1	11,887.9	12,220.3	8,970.7	8,073.6	8,655.1
受給者1人あたり給付月額(通 所介護)	D17-f	円	見える化・時系列 (各年度年報)	94,206.7	101,852.0	105,041.7	86,951.9	90,849.2	91,873.8	81,668.5	85,006.1	84,960.5	79,162.5	82,626.6	78,374.9
受給者1人あたり給付月額(通 所リハビリテーション)	D17-g	円	見える化・時系列 (各年度年報)	65,341.3	62,221.5	62,805.2	58,680.7	58,541.4	58,738.2	58,519.9	59,316.7	59,650.1	58,416.8	59,732.8	57,844.9
受給者1人あたり給付月額(短 期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列 (各年度年報)	77,484.6	87,659.6	78,865.0	82,070.8	90,941.3	91,594.6	96,162.7	108,509.9	109,768.7	60,413.6	70,101.6	73,186.8
受給者1人あたり給付月額(短 期入所療養介護)	D17-i	円	見える化・時系列 (各年度年報)	68,444.8	73,047.5	70,803.4	84,005.7	89,355.4	90,587.3	85,706.9	90,943.8	92,181.3	82,261.5	89,642.9	78,255.6
受給者1人あたり給付月額(福 祉用具貸与)	D17-j	円	見える化・時系列 (各年度年報)	10,803.0	11,054.1	11,634.5	11,490.9	11,789.8	11,975.2	11,476.9	11,659.9	11,778.4	10,158.7	9,757.5	10,260.8
受給者1人あたり給付月額(特 定施設入居者生活介護)	D17-k	円	見える化・時系列 (各年度年報)	174,446.5	178,880.5	196,102.4	174,075.0	176,300.5	179,994.0	176,350.5	179,263.1	181,730.7	204,382.4	206,208.0	239,064.3

受給者1人あたり給付月額(介 護予防支援・居宅介護支援)	D17-I	円	見える化・時系列 (各年度年報)	11,239.2	11,189.4	11,153.9	11,822.6	11,836.1	12,116.0	12,665.9	12,729.9	13,051.1	12,975.7	13,095.4	13,162.3
受給者1人あたり給付月額(定 期巡回・随時対応型訪問介護 看護)	D17-m	円	見える化・時系列 (各年度年報)	210,073.7	238,745.0	247,334.7	162,723.9	174,203.2	179,865.1	153,625.2	159,009.2	161,593.0	227,181.5	236,340.4	318,414.4
受給者1人あたり給付月額(夜 間対応型訪問介護)	D17-n	円	見える化・時系列 (各年度年報)	-	-	-	28,603.9	-	-	35,912.4	39,191.3	37,505.3	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(認 知症対応型通所介護)	D17-o	円	見える化・時系列 (各年度年報)	-	28,444.5	-	124,581.1	127,038.1	123,072.6	114,132.8	118,030.6	117,875.9	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(小 規模多機能型居宅介護)	D17-p	円	見える化・時系列 (各年度年報)	167,929.4	171,101.1	180,575.6	170,502.2	172,308.2	180,272.2	181,772.7	184,451.6	188,919.4	172,301.2	179,731.6	172,059.9
受給者1人あたり給付月額(認 知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列 (各年度年報)	246,585.6	248,633.1	249,683.3	246,059.3	248,627.7	251,821.5	253,116.4	256,463.0	258,748.8	250,209.9	247,840.7	247,169.6
受給者1人あたり給付月額(地域密着型特定施設入居者生活介護)	D17-r	円	見える化・時系列 (各年度年報)	185,159.7	188,065.0	197,617.8	195,292.1	194,396.3	199,597.9	192,277.3	195,137.1	198,286.6	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(看 護小規模多機能型居宅介護)	D17-s	円	見える化・時系列 (各年度年報)	-	-	-	250,818.1	243,830.1	237,376.9	245,778.3	251,873.0	257,477.4	286,704.0	287,460.0	292,489.5
受給者1人あたり給付月額(地 域密着型通所介護)	D17-t	円	見える化・時系列 (各年度年報)	104,370.6	105,119.7	101,629.1	98,257.9	101,050.5	101,182.3	73,780.9	77,098.0	76,704.7	79,266.4	86,758.4	80,482.0
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	o	見える化・時系列 (各年度年報)	20.3	21.0	20.4	17.7	17.9	18.0	24.0	25.1	25.6	12.0	14.7	15.3
受給者1人あたり利用日数・回 数(訪問入浴介護)	D31-b	D	見える化・時系列 (各年度年報)	5.6	6.2	6.0	5.3	5.4	5.3	5.0	5.0	5.0	6.4	7.4	7.2
受給者1人あたり利用日数・回 数(訪問看護)	D31-c	o	見える化・時系列 (各年度年報)	8.3	7.1	7.3	7.6	7.4	7.5	8.7	8.8	8.9	7.9	7.2	7.2
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問リハビリテーション)	D31-d	D	見える化・時系列 (各年度年報)	12.7	12.2	12.8	12.4	12.2	12.4	11.4	11.5	11.7	10.6	10.4	11.8
受給者1人あたり利用日数・回 数(通所介護)	D31-e	B	見える化・時系列 (各年度年報)	12.6	13.2	13.3	11.8	12.1	12.1	10.7	10.9	11.0	10.8	10.7	10.5
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハビリテーション)	D31-f	B	見える化・時系列 (各年度年報)	6.8	6.4	6.4	5.9	5.8	5.8	5.9	5.9	5.9	5.8	5.8	5.8
受給者1人あたり利用日数・回 数(短期入所生活介護)	D31-g	B	見える化・時系列 (各年度年報)	9.6	10.7	9.3	10.4	11.2	11.2	11.7	12.9	12.9	7.4	8.2	8.7
受給者1人あたり利用日数・回 数(短期入所療養介護)	D31-h	В	見える化・時系列 (各年度年報)	6.1	6.6	6.3	7.4	7.6	7.7	7.8	8.1	8.2	7.7	7.8	6.8
受給者1人あたり利用日数・回 数(認知症対応型通所介護)	D31-i	B	見える化・時系列 (各年度年報)	-	3.0	-	11.8	12.0	11.8	10.7	10.8	10.9	-	-	-
受給者1人あたり利用日数・回 数(地域密着型通所介護)	D31-j	0	見える化・時系列 (各年度年報)	12.2	12.0	11.8	11.8	12.0	11.9	9.5	9.7	9.7	10.0	10.2	9.8
		_													

	見える化「サービス提供事業所数(訪問介護)(R02 人口10 万人対)」	問題を解決するための対応策 (理想像でも可) 介護職員初任者研修の受講を希望する方に対す る支援
域いずれも上昇しているものの、当市は横ばいである。	・国27.9事業所・県26.5事業所・指宿市20.1事業所・比 較地域14.6事業所 一国及び県より人口当たりの事業所数が少ない。また、比	
	最近が味みソルコニング学家の扱びである。また、比較地域は当市よりかないが、利用日数・回数が3年間で増加していることから、当市では訪問介護の供給量が足りない可能性がある。	

自由記述 在宅を希望する被保険者が、可能な限り在宅で過ごすためには、需要に応じた訪問介護サービスの供給量を高めることが必要である。